

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 19 みこえきくとて	讃美歌 97 朝日は昇りて
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 マラキ書 3:13~16	黙 禱
マタイによる福音書 1:21~23	主の祈り 564
讃美歌 96 エサいの根より	頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
説 教 『イエス、主は救いという名前』	祝 禱 後 奏

「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである(マタイ1:21)」。「イエス=Ieshua」という名の意味は「ヤハウエ(主)は救い」。「[その名はインマヌエルと呼ばれる]。この名は[神は我々と共におられる]という意味である(1:23)」。人の名には相応の意味や思いが込められている。最近の子供たちのキラキラネームにはとりわけそれが感じられる。

「イエス=主は救い」。「救い」とはマリアが産む男の子のもう一つの名前、つまり「インマヌエル=神が我々と共におられる」こと。だがキリスト者は日本の人口の1%にも満たない。だとすれば「神がいても、いなくても、救われることもあり、絶望に陥ることもある」と考える者が多いだろう。そんな世間の中にと、キリスト者も引きずられて「救いの奇跡」への期待が薄まってははいかないか。

これは現代日本に限ったことではない。イスラエルの民でさえそうだった。神は預言者マラキを通して民に語る。「あなたたちは言っている。[神に仕えることはむなしい。たとえその戒めを守っても、万軍の主の御前を、喪に服している人のように歩いて、何の益があろうか。むしろ、我々は高慢な者を幸いと呼ぼう。彼らは悪事を行っても栄え、神を試みても罰を免れているからだ] (マラキ3:14~15)」。神の民イスラエルがここまで冷笑的かと意外な感じだが、信仰は熱くなったり冷めたりするようだ。

預言者マラキの名の意味は「ヤハウエ(主)の使者」。だから3章は「見よ、わたしは使者を送る(3:1)」で始まる。最後の預言者マラキが使者となった時代は、民がバビロン捕囚から帰還してから数十年後。捕囚という苦難を経て、廃墟と化したエルサレムを建て直してから、もう三世代くらいは経っている。神殿が再建され、礼拝が整えられ、暮らしも落ち着いた。外面的にはそうだが虚脱感が覆っていた。危機の時のような「神の御手の内にある」「終わりの日を待つ」という救いのリアリティはもう無い。

「そのとき、主を畏れ敬う者たちが互いに語り合った。主は耳を傾けて聞かれた(3:16)」。神の救いが見失われているその中に、僅かな者たちの祈りがあり、神はそれに「耳を傾けて聞かれた」。日本でも明治期や敗戦後のような世の転換期には、キリスト信仰は広がったが、平穏な時代には「主を畏れ敬う者たち」は1%以下になった。だが1%の私たちの祈りを神は「耳を傾けて聞かれる」。「神に仕えることはむなしい。たとえ、その戒めを守っても~何の益があろうか(3:14)」という世にあっても、少数者の祈りが聞き届けられ、ほとんどの者が気づかないまま救いの真実は起ころうとしている。

まさしくクリスマスだ。「[見よ、おとめが身ごもって男の子を生む。その名はインマヌエルと呼ばれる]。この名は[神は我々と共におられる]という意味である(マタイ1:23)」。「ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ、男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた(1:24~25)」。夢で見た幻に過ぎなかったが(1:20)、寒村の一職人ヨセフから「イエスと名付けられた男の子は自分の民を罪から救う(1:21)」奇跡が啓かれる。

世界全体に「イエスの名」は伝えられ、教会が建ち、礼拝が整えられているが、「ヤハウエ(主)は救い」が片隅に追いやられている。だがそんな「夜」のただ中にクリスマスはやって来る。まもなくAIによって世は激変するだろう。どんな時も神は「耳を傾けて聞かれる」から、私たちは祈り続ける。

福音が受け入れられる前より受け入れられた後が信仰の危機となる 多数で安定する危うさによりだがクリスマスは到来する 混沌とした夜にやって来る 形式や精神に整合性のある昼にはない

本日アドベントの第二週、2本目のキャンドルに火が灯ります。12/11(水)12:00~2:00 エステル会。12/14(土)1:30~3:00 聖研・祈祷会。12/15(日)礼拝後に年末大掃除をします。準備をお願いします。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。